

## 歩行者空間との共存のための 道路交通シミュレーション活用事例

(株)アイ・トランスポート・ラボ  
代表取締役 堀口良太

## 講演の概要

- 交通シミュレーションへの期待
  - 歩行者空間と車両空間の対立軸における、合意形成支援ツールとしての役割。
- 交通シミュレーション活用事例の紹介
  - 鎌ヶ谷市における「市民参加型交通安全対策」での利用事例（国際交通安全学会，鎌ヶ谷市）。

2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー



## 今までの交通シミュレーションの使われ方

- 各種施策の渋滞緩和効果の評価
  - すなわち「道路整備のための理由付け」
  - IC設置,交差点改良,立体化,etc.



2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー



## 本当は...

## 交通問題は交通だけの問題ではない

- 都市空間利用の歪みの「しわ寄せ」
  - バイパス渋滞と市街地空洞化
  - 新交通システムを利用しないドライバー
  - 幹線道路の路上駐車
  - 渋滞交差点の冗長な歩行者青信号

これまでの論理では...

「道路整備か、さもなくば「排除」「規制」」  
の評価のために、シミュレーションが使われる。

2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー



## 生活感に根ざした交通問題への取り組み

- 生活空間から見た交通への取り組み
  - 交通まちづくり, コミュニティ・ゾーン, etc .

どこで対立軸のバランスをとるか？

歩行者移動の質

車社会への依存

2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー

## 会話の土俵としての交通シミュレーション

- 利害関係者の合理的な態度を引き出す .
  - シミュレーションの意味を翻訳する専門家の働きが重要 .



西 周辺地域住民, 企業  
2004 (クルマ社会代表)

東 地区住民  
歩行者空間デザインと道路交通評価手法 (歩行者空間利用者)

## 合意形成ツールとしての交通シミュレーション利用のキーポイント

- 市場の創生 (やっぱりお金がないと...)
  - 社会実験, NGO活用, etc .
- 調査手法の高度化 (アンケートとカチカチだけじゃあ...)
  - 運転者と歩行者の追跡行動調査
- シミュレーションの効率化 (ばばっとやりませ！)
  - 段階的に合意を醸成していく過程では必須
- シミュレーションの透明性
  - 検証 + 認証 (交通シミュレーションクリアリングハウス)

2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー

## 鎌ヶ谷市における「市民参加型交通安全対策」での利用事例

国際交通安全学会,  
鎌ヶ谷市, 他

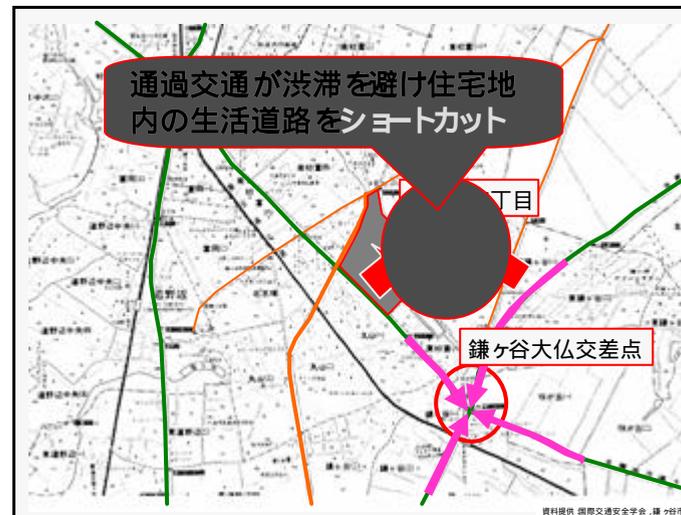
## 鎌ヶ谷市の非幹線道路における事故発生率の順位

地区名	土地利用形態	人口あたり	面積あたり
東道野辺 5丁目	市街化区域	1	57
中沢	市街化調整区域	2	2
東初富 4丁目	市街化区域	3	4
道野辺中央 2丁目	市街化区域	4	24
丸山 3丁目	市街化区域	5	6
串崎新田	市街化調整区域	6	63
軽井沢	市街化調整区域	7	11
佐津間	市街化調整区域	8	7
道野辺	市街化調整区域	9	16
鎌ヶ谷 8丁目	市街化区域	10	9

2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー

資料提供 国際交通安全学会,鎌ヶ谷市



資料提供 国際交通安全学会,鎌ヶ谷市

## 地域内道路の状況



2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー

資料提供 国際交通安全学会,鎌ヶ谷市

## 面的な交通安全対策の実施

- 地区住民間の利害関係が複雑で調整を必要とする場合が多い
- 通り抜けドライバーの理解・協力も必要

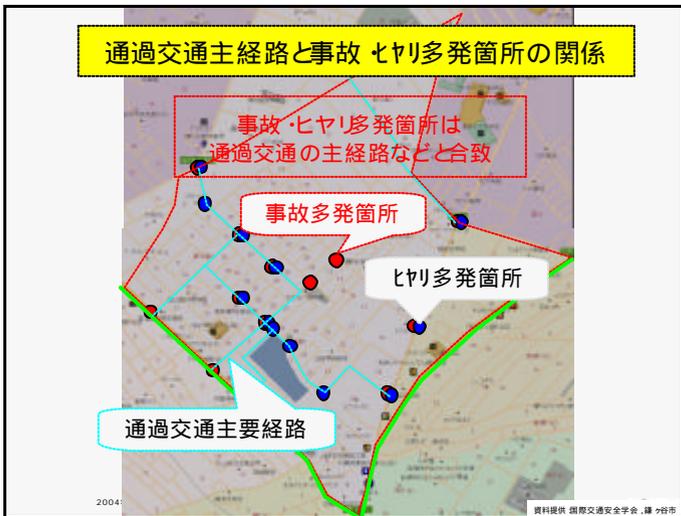
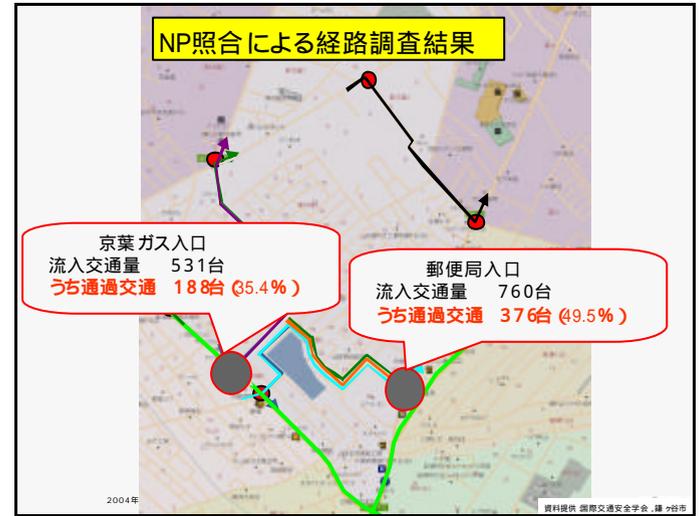
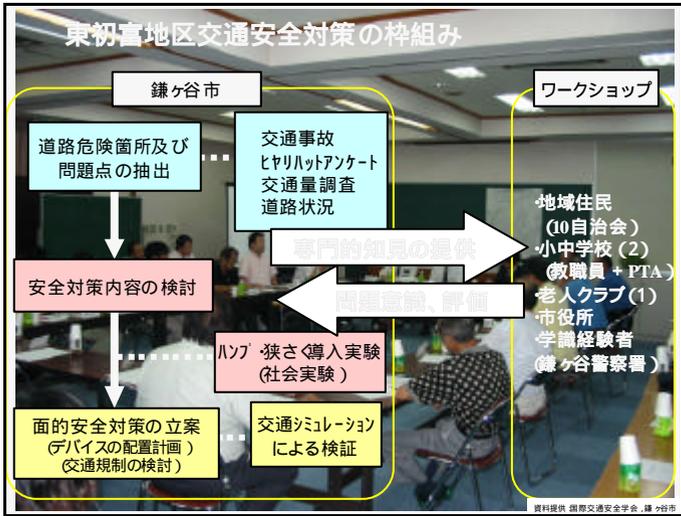


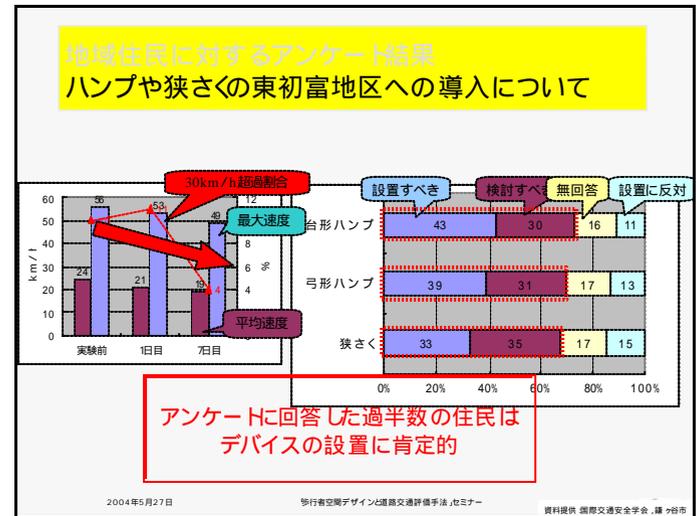
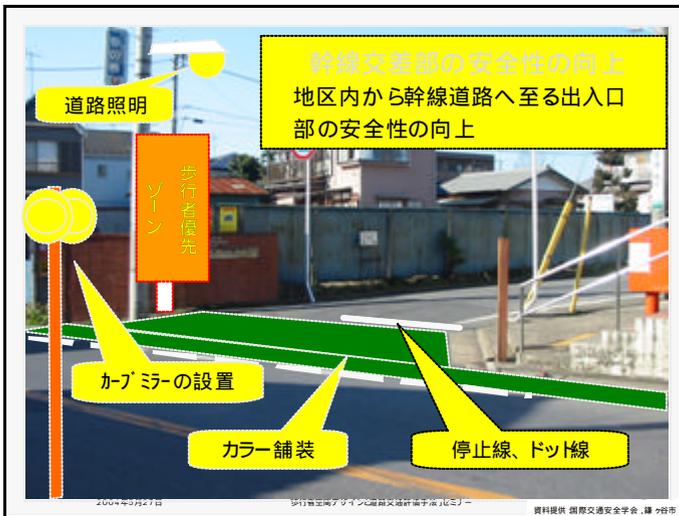
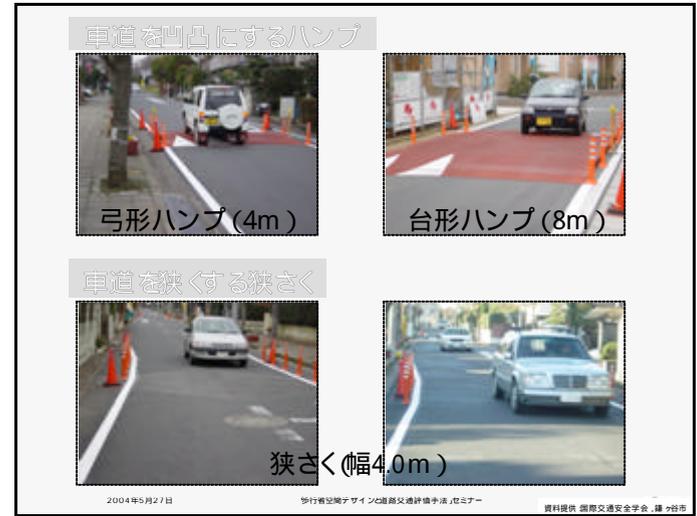
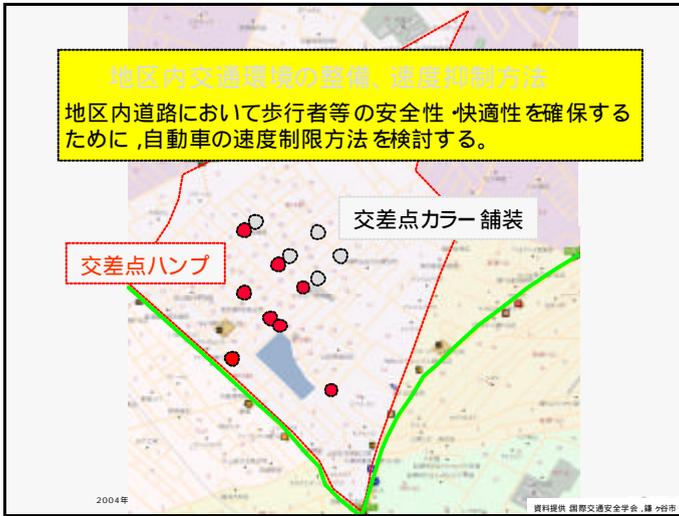
- 市民参加型交通安全対策により,市民間の利害調整の円滑化をはかる

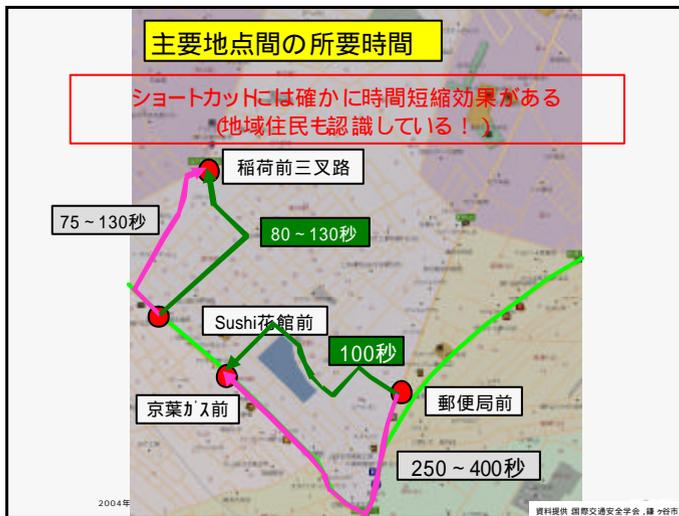
2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法,セミナー

資料提供 国際交通安全学会,鎌ヶ谷市







地区内へ流入する通過交通の規制や自動車の走行速度抑制によって、幹線道路の交通流への影響が予想される(交通渋滞の激化等)

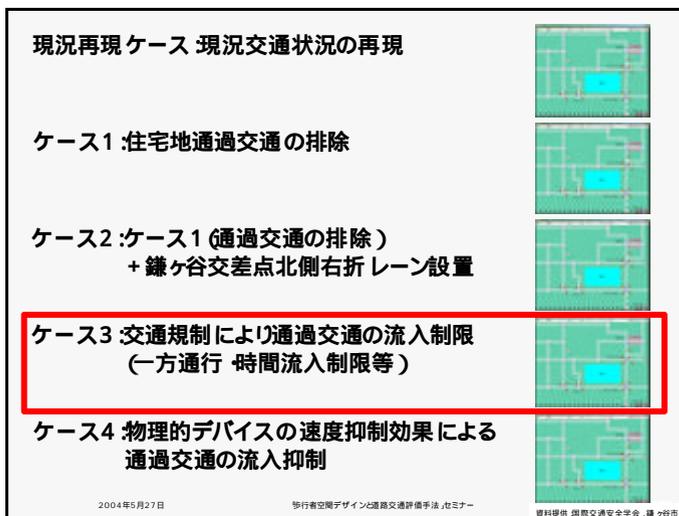
↓

対策案ごとに交通シミュレーションを行い、幹線道路の交通渋滞や車両走行速度・旅行時間の变化を予測

2004年5月27日

歩行者空間デザインと道路交通評価手法、セミナー

資料提供 国際交通安全学会、鎌ヶ谷市



## ワークショップのスナップ

1. 地域住民の問題意識・ニーズの把握
2. 専門的知見の提示
  - ? 交通調査・データ分析結果 要因の特定
  - ? 対策代替案
  - ? 交通シミュレーションによる代替案の評価

- ↓
1. 住民と行政における認識の共有
  2. 対策への十分な理解

資料提供 国際交通安全学会、鎌ヶ谷市

ワークショップニュース  
<http://utef.co.jp/kamagaya/>

ワークショップ資料は、鎌ヶ谷市HPで公開中



2004年5月27日

歩行有空間デザインと道路交通評価手法、セミナー

資料提供 国際交通安全学会、鎌ヶ谷市